



報告書



女子しか 言えない

1人の底で見た、
愛の切実

出演者紹介



桃井咲良

- 1年生ながら、とってももしっかりしてて、積極的に皆をまとめてくれる姉御肌で、乙女な一面もある人！それと演劇に対する熱意が半端じゃない！熱血!!(高瀬麻利)
- 2 面倒くさくて重いけど感情豊かであっさり！芝居が上手いかなかった稽古の後、親の迎えを待つ間プラットの外で声を殺して悔し涙を流しました。



中神真智子

- 1 本当にしっかりしてて、積極的に皆をまとめてくれる姉御肌で、乙女な一面もある人！それと演劇に対する熱意が半端じゃない！熱血!!(高瀬麻利)
- 2 面倒くさくて重いけど感情豊かであっさり！芝居が上手いかなかった稽古の後、親の迎えを待つ間プラットの外で声を殺して悔し涙を流しました。



羽田翔大

- 1 すごいアクティブな男子高校生！手筒花火やつるお祭りボーイで、誰にでもすごく気さくに話しかけてくれてこちらに気兼ねさせないところが、(伊藤渚) 2 難しいけど、守らないといけない物、(森田好美) 3 女子にしか言えない！に出る出ないで父さんともめた時、本気で出たかったから買き通した。



鎌倉慶香

- 1 じえしかはまじめですごく張り屋さんで、笑顔がとっても可愛い子です。稽古をしているときは一生懸命で、見ていてかっこいいなって思います。(森田好美)
- 2 なんだかんだかわいいう生き物。(伊藤渚) 3 体育祭のリレーで優勝した時、第一走からアンカーまで、一位でバトンを繋げることができ感動しました。



金田帆那

- 1 アメコミと洋画が好きでハイテンションガール！いつも楽しくゲームしたり映画見たり！真面目な事も言う時もあり、案外考えること考えて驚かされる。(伊藤渚)
- 2 楽しいけどすごく難しいものです。
- 3 映画を観て泣きました。洋画ホラーだったのでラストがすごく感動的。もっと色々な映画を観たいです。



出井麻世

- 1 普段は大人しく人見知りでも舞台上立つことが大好きで活発なまよちゃん。話す面白く自分の意見をスバズバ言っていて、聞いている方もすっきりします。(中村晴香)
- 2 自分の感情に振り回されて忙しい生き物。(伊藤渚) 3 好きな人に彼女がいると噂を聞いた時、結局噂で終わったけど、馬鹿なこと泣いたなあって思います(笑)



河合彩夏

- 1 ちっちゃくて明るい！笑顔がチャームポイントです。ふざけてる時もあるけれど、スイッチの切り替えが上手で実はすごく気を遣える優しい子です！(笠田優奈)
- 2 強がりになかなか素直になれない乙女。(朝ドラ「トト姉」で花山が雑誌を作り上げてきた3人に、感謝の言葉を送るシーンです。



野元結水

- 1 優しい雰囲気を持ち主でみんなのバイセン!!一緒にいるとどこか安心する女性らしさを持ちながら、思いきって行動出来る決断力も。(中村晴香)
- 2 強くて弱い、愛されたい生き物。(伊藤渚) 3 昨日かな、今日かな、あんまり覚えていません(笑)でも、号泣したのは最近劇を観た時に感動して泣きました。



萩原暁恵

- 1 大人っぽくてスポーツが得意な女の子。食べることに音楽を聴くことが好きで、人見知りのところがあるけど、仲間を大切にしてくれます。(佐藤文香)
- 2 お砂糖とスパイス。まるで麻婆豆腐。(伊藤渚) 3 体育祭の綱引きで、一致団結して必死に声を掛け合っているクラスメイトの姿を見て、涙腺が崩壊しました。



稲吉康平

- 1 康平さんは誰にでも敬語で気を使ってくれる優しい人です。運動が好きで、好きな教科は体育です。クレープや猫が好きという意外な面もあります。(中神満月)
- 2 接するのが難しい存在。
- 3 中3の陸上の最後の大会で、自己ベスト更新が出来なくて、入賞も出来なかったのが悔しくて帰って泣きました。



内柴楓

- 1 明るくて親しみやすい！最初に会った印象はニコニコしてるなーって感じでした。でも、しっかりしてて、笑顔が最高な人！(市原麻帆)
- 2 感情や想いを素直に表現できる生き物。(伊藤渚) 3 動画で猫が病気になるって必死に生きているのを飼っている主さんが看病してるところを見て感動して泣きました。



小林聖香

- 1 聖香さんはいつもみんなの中心にいて盛り上げてくれます。明るくて優しい人なので、真面目です。休憩の時にはいつも台本を見て確認しています。(中神満月)
- 2 大人になりにきれいな女性。
- 3 今年、弟の誕生日が親にちゃんと祝われてなかったけど、私の誕生日は3年連続で忘れられちゃうのかと思ったら涙が。



梨山あゆみ

- 1 いつも笑顔でふわっとした雰囲気がありますが、休憩中は熱心に勉強したり、長ゼリフの練習をしたりと、しっかりしているところもあります!!(内藤広稀)
- 2 気分の波が激しい生き物。
- 3 関ジャニ∞のコンサートに行った時に安田章大くんがファンサインを買えた時！崩れ落ちました!(笑)



安藤正弥

- 1 あんどろーは努力家です。演技で分からないところを分かるまで悩んでいて、すごいなって思いました。あと、共通の友達曰く、博識だそうです。(森田好美)
- 2 男子より繊細で感受性豊かな生き物。(伊藤渚) 3 高校1年の演劇部での夏の大会の稽古で、何回やっても上達できないのが悔しくて情けなくて稽古後に泣きました。



金子治親

- 1 はるちは素直で真面目!!そしてテンションが高い時が面白い公家キャラ。他人の話をちゃんと聞いて受け止める優しさを持っています。(佐藤文香)
- 2 社会精神身体が成熟してない女性。(伊藤渚) 3 8月ごろ、世にも奇妙な物語とまる子ちゃんのロボの回の「まる子のいる街」をyoutubeで見つ。



山内菜摘

- 1 第一印象、可愛いお姉さん!八重歯が本当に可愛い。稽古では、自主稽古の時からほとんど皆勤賞で参加してて実は頑張り屋さんなナツトウんです(笑)(朝倉優香)
- 2 強く優しい女性になるための準備期間。(伊藤渚) 3 辛くて苦しい時期に、友達に話を聞いてもらって号泣しました。泣いて全部吐き出すことで前に進めました。



鈴木瑠花

- 1 笑顔が素敵!ようかちゃんと話していると心が癒やされます。彼女は、ミュージカルが好きで、イメージを体で表現するのがとても上手なんですよ!小林、怜以奈)
- 2 鋭い感受性で謎の団結をみせる恐ろしい生物。(伊藤渚) 3 前髪を母に切ってもらったら切りすぎて無惨な姿となった...でも周りには割と好評だった。



滝彩香

- 1 おしゃれ!最初は雲間的に話しくいと思っただけど、全然そんな事なくて沢山話しました。話す時に相手のことを考えて話して凄いなって尊敬しました(長坂朋香)
- 2 未確認生物。まだだ不思議がいっぱい。(伊藤渚) 3 学校の文化祭が楽しくて泣きました。ダンス部さんの発表がカッコよくて泣きました。高校生活は宝物です。

2月14日[日]	募集告知開始
4月22日[金]	オーディション申込締切
5月21日[土] 22日[日]	一次キャストオーディションWS 二次キャストオーディションWS
5月29日[日]	キャスト確定
7月9日[土] 10日[日]	□字ック『荒川、神キラーチューン』豊橋公演 スタッフ打ち合わせ@東京
7月28日[木]	
8月16日[火] ~19日[金]	プレWS開催
9月2日[金]	スタッフ打ち合わせ@東京 会員先行チケット発売 自主練習開始 高校生スタッフ向け制作WS開催 スタッフ打ち合わせ@東京 台本完成 一般チケット発売 □字ック舞台映像上映会
9月4日[日]	
9月6日[火]~	
9月10日[土]	
9月12日[月]	
9月15日[木]	
9月18日[日]	
9月21日[水]・24日[土]	
9月26日[月]~10月2日[日]	稽古 1週目 2週目 3週目 4週目 5週目 6週目
10月3日[月]~9日[日]	
10月10日[月・祝]~16日[日]	
10月17日[月]~23日[日]	
10月24日[月]~30日[日]	
10月31日[月]~11月4日[金]	
11月5日[土]	本番 ◆13時・入場者174人 / ◆19時・入場者185人 ◆13時・入場者190人 / ◆17時・入場者192人
11月6日[日]	
2017年 2月16日[木]	本番映像上映会



【稽古】第1週目
◆9月26日(月) - 10月2日(日)
今年で3年目となった本企画。これまでの上演作品を観たり、過去の出演者から話を聞いたりした上で参加を望む人が増えており、地域への浸透ぶりが見受けられる。

稽古初日、やむを得ぬ事情によりキャストが一人降板することになり、スタッフの中から二人、交代でキャストを務めることが決まった。降板する彼女を含め全員でこの作品を創るのだという気持ちで稽古はスタートした。

◆10月3日(月) - 10月9日(日)
週頭に、本番で使用するアトススペースでの稽古。実際の場所での程度の振る舞いをしないと会場全体に伝わらないのか、肌身を持って実感できたように、この

【稽古】第2週目
◆10月10日(月・祝) - 10月16日(日)
この時期になると、テスト期間になる高校も多くなった。稽古は引き続き、全体でのムーブと個々のシーン毎の稽古を行った。シーンに出演しない高校生達は、劇場内の空いている部屋やロビーなどでテスト勉強をしたり、個々のキャスト同士で自分たちのシーンについてどうするか、どう思うかなどを話し合っていた。

◆10月17日(月) - 10月23日(日)
テスト期間、そして修学旅行の時期。高校生達の演技に少しずつ変化が。感情や感覚を使うようになったため、演出家・山田佳奈も演出がしやすくなってきたようだった。とはいえ、出演するキャストひとりひとりの生きてきた人生そのものに向き合って、丁寧に全力でやりとりを重ねるという大変な作業が続いている。それは、高校生にとっても、演出チームにとっても、ひとつずつ少しずつ進まない苦しい時期でもあった。

◆10月24日(月) - 10月30日(日)
25日、照明以外の劇場仕込み。この日以降、実際の舞台で稽古を行うことに。スタッフも演出部、音響、照明、衣裳、制作などそれぞれ部門ごとにわかれ、本番の仕事に向けて準備を進めた。こうしてそれぞれの役割のもと、キャスト・スタッフ一丸となって本番に向かっていた。

【稽古】第3週目
◆10月31日(月) - 11月6日(日)
31日、照明が吊られ、すべての仕込みが完了し準備が整う。

【稽古】第4週目
◆10月17日(月) - 10月23日(日)
テスト期間、そして修学旅行の時期。高校生達の演技に少しずつ変化が。感情や感覚を使うようになったため、演出家・山田佳奈も演出がしやすくなってきたようだった。とはいえ、出演するキャストひとりひとりの生きてきた人生そのものに向き合って、丁寧に全力でやりとりを重ねるという大変な作業が続いている。それは、高校生にとっても、演出チームにとっても、ひとつずつ少しずつ進まない苦しい時期でもあった。

【稽古】第5週目
◆10月24日(月) - 10月30日(日)
25日、照明以外の劇場仕込み。この日以降、実際の舞台で稽古を行うことに。スタッフも演出部、音響、照明、衣裳、制作などそれぞれ部門ごとにわかれ、本番の仕事に向けて準備を進めた。こうしてそれぞれの役割のもと、キャスト・スタッフ一丸となって本番に向かっていた。

【稽古】第6週目
◆10月31日(月) - 11月6日(日)
31日、照明が吊られ、すべての仕込みが完了し準備が整う。

◆10月10日(月・祝) - 10月16日(日)
この時期になると、テスト期間になる高校も多くなった。稽古は引き続き、全体でのムーブと個々のシーン毎の稽古を行った。シーンに出演しない高校生達は、劇場内の空いている部屋やロビーなどでテスト勉強をしたり、個々のキャスト同士で自分たちのシーンについてどうするか、どう思うかなどを話し合っていた。

◆10月17日(月) - 10月23日(日)
テスト期間、そして修学旅行の時期。高校生達の演技に少しずつ変化が。感情や感覚を使うようになったため、演出家・山田佳奈も演出がしやすくなってきたようだった。とはいえ、出演するキャストひとりひとりの生きてきた人生そのものに向き合って、丁寧に全力でやりとりを重ねるという大変な作業が続いている。それは、高校生にとっても、演出チームにとっても、ひとつずつ少しずつ進まない苦しい時期でもあった。

◆10月24日(月) - 10月30日(日)
25日、照明以外の劇場仕込み。この日以降、実際の舞台で稽古を行うことに。スタッフも演出部、音響、照明、衣裳、制作などそれぞれ部門ごとにわかれ、本番の仕事に向けて準備を進めた。こうしてそれぞれの役割のもと、キャスト・スタッフ一丸となって本番に向かっていた。

◆10月31日(月) - 11月6日(日)
31日、照明が吊られ、すべての仕込みが完了し準備が整う。





男子が4人。
女子が14人。
18人のわたしたちがいます。
いまここに。

女子が
活けない

「おはよう御座います」の
元気が良すぎる。

少し大人が面食らうほどの威力。元気なことは悪いことではないけれど、でも実際彼女たちはこの元気な挨拶の裏に何を隠しているんだろう。だからこそ彼女らの「おはよう」を元に作品を創ることにしようと思いました。そもそも、「おはよこ」という言葉には魅力が沢山あります。何事もなく今日を過ごすための願いの事のような、日々違う毎日を送るスタートさせるような。生きていることに感謝する。当たり前のことではありますが、わたしたちはこの言葉をつぶやくことによつて、お互いの「生きていること」を労い合っているのかもしれない。そんな気がしているのです。だから暗闇でジタバタと、寂しくなったり悲しくなったり叫んでみましょう。「おはよ——う」。わたしたちはひとりて生まれてきて、ひとりて死んでいきます。でもその先にはいつだって仲間や家族がいるから、安心して走り回って欲しい。女子が14人に男子が4人。スタッフを含めると30人の高校生たちにとつて、この演劇が、大人になつてからも生きるための要素になつてくれたら嬉しく思います。

※当日パンフレットより抜粋
山田佳奈



高校生スタッフ紹介

STAFF ● 他已紹介



Yuka Asakura
朝倉 優香

①ヘタレですね。嘘です、彼女の着てたTシャツの言葉です(笑)飲み込みが早く、楽しくなってテンションが上がるとグリーンと伸びる人!(市原 麻帆)



Maho Ishihara
市原 麻帆

①まず、凄く見た目のギャップに驚いた!可愛いのに、実は結構サバサバしてたり(笑)頼れる存在です。あと身体が柔らかいのがすごく羨ましいです。(朝倉 優香)



Nagisa Ito
伊藤 渚

①渚は、みんなにバルと呼ばれています。ペンギンが大好きでしっかり者のバルは、とても頼りになります!明るくて、全体をよく見られる力もありますよ!(笠田 優奈)



Yuuna Kasada
笠田 優奈

①小さくお調子者でフレンドリーな楽しい子!だけどころりやることやってくれて、頼ってます(笑)バレエが好きで、生懸命頑張ってる所が素敵♡(伊藤 渚)



Reina Kawashiri
小林 怜以奈

①おっとりして、すごくかわい!それと、がんばりやで、誰かの辛かった話に共感して涙を流せるところもすくいい!そして、演劇が本当に大好きな子!!(高瀬 麻利)



Ayuka Sato
佐藤 文香

①あやかはよく喋ります。スタッフで作業をする時も、その場を盛り上げてくれます。それに友達思いで優しく、一緒に楽しい子です。(森田 好美)



Mari Takase
高瀬 麻利

①しっかりしていて、話しているときエネルギーをもらえる人!副長のあだ名の通り、親しみやすく頼りになります。作業を丁寧にこなしている姿が格好いい!(小林 怜以奈)



Shiroki Naito
内藤 広稀

①ひろきさんは戦隊モノや仮面ライダーが好きで、語りだすと止まりません。将来は仮面ライダーのイベントに関わるのが夢だそうです。(中神 満月)



Mizuki Nakagami
中神 満月

①しっかり者の満月ですが、見ていたアニメに偶然、下野紘さんがよく出ていて、運命を感じ好きになってしまったという、ロマンチックな面も!!(内藤 広稀)



Tomoka Nagasaka
長坂 朋香

①いつも笑顔で眼鏡がよく似合っ!て話が面白くて「お腹空いた!」が口癖で誰とも仲良くなれて自分の意見をはっきり言える、頼れるスタッフです!(中村 晴香)



Yurika Nakamura
中村 晴香

①話をしているときも楽しく、ノリがいい!やるときはきちんとやり、しっかり者で、みんなをまとめるのがとても上手。あと、可愛いです!!(長坂 朋香)



Konomi Morita
森田 好美

①ひかえめでおとなしく、おっとりして、でも仕事はすばやく丁寧にやり、友達が困っていれば手をかしてくれるやさしい女の子です。(佐藤 文香)

スタッフワーク

STAFF WORK



今回スタッフ希望で集まった

高校生は12名。彼らには「演劇を創る上でどんな仕事があるのか」について、事前にワークショップを行いました。その中で、今回の作品にどのように関わりたいのかを想像し考えてもらった上で稽古に臨んでもらいました。

これまでも、広報、記録といった制作的・演出助手的な仕事は行っていましたが、今回、舞台監督・金安凌平氏、美術・青木拓也氏、照明・松本大介氏、音響・岡田悠氏の協力により、演出部・美術製作・照明・音響の部門でも、スタッフとしての仕事に関わってもらうことができました。

舞台作品とは、さまざまな役割・立場の人がそれぞれに関わりあい、各々の創作物を重ねながら作品を創り上げる総合芸術です。そのことを、今回参加した高校生たちは体感することができたのではないのでしょうか。

今後、プロの技術スタッフのもと、実際の現場で仕事ができる貴重な機会として、様々な立場から作品作りに関わりたいと希望する生徒の声に応えられるようにいたします。

Twitter

稽古のある日に毎日ツイート。稽古場の様子・写真・今日の名言などがつぶやかれた。
https://twitter.com/jyoshi_plat

広報映像製作

プラット館内やYouTube、Twitterに流す広報動画の企画・撮影・編集を行った。30秒動画と5分動画があり、5分動画では演出家・山田佳奈、振付家・大石めぐみのインタビューも収録。
<https://www.youtube.com/watch?v=RyMOXBC6aPo>

稽古記録・代役

稽古で出されるチェックをノートにまとめたり、稽古動画を撮影し全員に共有するなどし、稽古をサポートした。また欠席したキャストの代役に代役を務めることも。

ホワイエ装飾

本番時、観客が通過するホワイエや階段に、作品世界への導入となるような装飾・BGMを企画・製作した。ホワイエがまるで水の中にあるようなレイアウトがなされ、観客を自然に客席・作品世界に誘導するような装飾ができた。

缶バッジ

「女子にしか言えない」缶バッジを作成。デザイン案を考え、デザインナーに描き起こしてもらった。缶バッジは高校生以下のチケット予約特典として公演当日に配布した。

衣装

衣装の把握、アイロンがけなど管理を行った。

舞台美術製作

作品後半に登場する「鯨」と、舞台上に吊るすランブシエードを美術・青木氏の指導の下、全員で作成した。

演出部

作品後半、舞台上の切り穴から「鯨」を出す際の介助、「鯨」が客席上を移動するための仕掛けとなる滑車の操作補助、また俳優の扉介錯などを舞台監督・金安氏指導の下を行った。

音響部

本番中、音量調節などの音響操作補助作業を音響・岡田氏指導の下を行った。

照明部

本番中、客席後方からのピンスポット操作を照明・松本氏指導の下を行った。

チラシ配布

豊橋まつりの日に、豊橋駅周辺でチラシを配布した。



1
集計結果

オーディションワークショップ						
		とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満
キャスト	日時	10	6	1	0	0
	スタッフ	4	6	1	0	0

1 オーディションワークショップについて

●私は一人での参加で、演劇部ではなかったため友達がいなかったのですが、他の人とペアを組んで体を動かしたり、悩み相談や気になることを話すなどというように、自ら発言しやすい場が多々あり、とても積極的になれました。

●始めて会う人が多くいたなかで、山田さん達が考えてくれた体を使った遊びのおかげで楽しく参加することができました。合格しなきゃ舞台にたてないという不安もあつたけど、ワークショップをやっていくうちに、その不安もなくなり周りの人と楽しくできたのが印象に残っています。

●オーディションを受けるのが初めてで、どんなことをやるのか不安でしたがエチュードをしたり、台本の穴つめをしたり、みんなの話を聞いたり、思った以上にすごく楽しかったです。1人で参加した子も多くて、話して友達になつてお互い8月のワークショップで会えたのはうれしかったです。

2
集計結果

プレワークショップ						
		とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満
キャスト	日時	9	7	1	0	0
	スタッフ	3	4	3	1	0
キャスト	回数	10	7	0	0	0
	スタッフ	5	4	2	0	0
キャスト	内容	14	3	0	0	0
	スタッフ	7	3	1	0	0

2 プレワークショップについて

●とにかく筋トレはきつかった。初日はきつすぎて昼食も喉に通らなかつた。でも筋トレとかは嫌いじゃないし、何よりやりきった達成感が気持ち良くて、案外楽しかった。

4
集計結果

稽古						
		とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満
キャスト	日時	12	4	1	0	0
	スタッフ	6	4	1	0	0
キャスト	回数	10	6	1	0	0
	スタッフ	7	3	1	0	0
キャスト	内容	16	1	0	0	0
	スタッフ	10	1	0	0	0

4 稽古について

●ワークショップの楽しい雰囲気とは一味違い、本気で作品をつくり上げていくうえでの緊張や責任を感じました。自分の役は役割は何なのか。自分は何が足りていないのかを考え、人から助言してもらったり、台本を何度も読んで探していました。分かっているのに表現できないことや、役割が分からない時が最も辛く感じました。今では悩んでいた全ての時間が意味のあるものだったと思います。何かに必死になることは、苦勞も多いけどその何倍も楽しいことだなーと思いました。

●稽古は学校帰りにプラットに行つて夜までやるというスケジュールがずっと続いていて、学校生活との両立は思っている以上に大変でした。それでも頑張ろうって思えたのは、みんなも同じ状況だということで、一緒に頑張っていきたいって思えました。

●この企画で、違う学校の人と交流できたし、仲間が増えたのですごく嬉しかったです。

3
集計結果

自主練習						
		とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満
キャスト	日時	6	6	5	0	0
	スタッフ	0	6	4	0	0
キャスト	回数	6	7	4	0	0
	スタッフ	0	5	5	0	0
キャスト	内容	5	6	6	0	0
	スタッフ	1	7	3	0	0

※スタッフの日時・回数/1名未記入

3 自主練習について

●ワークショップの熱が冷めず、メンバーとの信頼がより深まった時期でした。学校や性格なども少しずつ知っていき、仲間意識が強まったように感じます。

5-1



公演を終えて

●キャストだけでなく、スタッフもたくさんいたことで、気づけたことが多くありました。学年問わず仲良くなれて、とても良い雰囲気でした。しかし、仲良くなれただけでなく、お互い支えあえることもできました。今回の公演で演劇がもっと好きになり、厳しい道ですが、もっと演じたいと思うようになりました。とても良い経験になりました。

●将来の事について、今までは安定を求めてやりたい事をあきらめていた部分があったのですが、これを機に自信がついたのもあって、真面目に考えるようになりました。あきらめずの早い私ですが、何かに向かって必死に努力

するのも悪くないのではないかと、もっと自分を信じてみようではないかと思うようになり、将来への考え方が少し変わりました。

●オーディションやワークショップ稽古などを通して、こんなに自分と向き合うことはないんじゃないかと思うほど向き合つたし、自分をさらけ出して話せる仲間と出会えたことは、辛かった時にとっても心の支えになりました。山田佳奈さんの演技指導や大石めぐみさんのムーブなど、私にとって初めてのことがたくさんあって、身体的にも精神的にも大変だったけど、新しいことを学ぶのはとても楽しかったし、できた時の快感は次の事へチャレンジする原動力にもなりました。

●演劇初心者の私でも演劇の深さ、重さ、素晴らしいことを強く感じる事ができ、演劇が大好きになりました。挑戦してよかったです。

5-2

この企画に参加することで当初どんなことを望み、何をしたいと思ったか？またそれらは実現されたか？

●私はこの企画に参加した理由は、高校生のうちにちゃんとした舞台に立つてみたいと思ったからでした。演技をすることは好きだったけど、プロの人たちと演劇をつくれる、つまり、本格的な舞台に立てると思い、応募しました。なので、私の望みは実現しました。それと同時に、私の考えの甘さも思い知らされました。演技をするってこんなに難しいことなんだと知り、また、人生を豊かにする一つ手段でもあるのかなと思いました。

●毎日、平凡でなんのおもしろみもなく過ごして退屈でした。刺激が欲しい、何かに夢中になりたいと変化を求めて参加しました。稽古が始まり、テストが2回あって忙しかったけど、忙しさを感じる以上に毎日が楽しくキラキラして刺激的でした。高校生活では感じることもないものを得ることができました。

●女優になりたいという夢を持ちながら、何年も動き出さずにいた私が初めて一歩踏

●お客さんがないとできないのが演劇で、いろんな方々に支えてもらったことをすごく実感しました。本当にたくさんの方々に感謝しています。きつとこれから何年かたつて、台本やチラシを見て、なつかしいなーと思いつつ思い出します。なつかしいという気持ちとともに、この時頑張つてたんだから、これからも将来に向けて頑張ろうと背中をおされると思います。

●私は、全4公演全てを客席から観る事ができましたが、お客さんの反応が直に伝わってきて、4公演とも反応が全然違って、衝撃を受けたことが忘れられません。「女子にしか言えない」に参加して、様々なことを学ぶ事ができ、高校生活2年目にして、ようやく「学校が楽しい」と心から思えるようになったので、とにかく参加して本当によかったです。

み出せたもので、演じる側を望んでいた私に小さな挫折を覚えてもらい、それと同時に、裏方の人たちのたならぬ努力や協力のおかげで舞台に立てている人がいる事と、がんばっている姿は誰かが見ているんだと教えてもらい、結果的に舞台に立たせてもらい、それに至るまでの積み重ねの大切さや、プロと素人の差を見せられたのか、また何かを演じてみたいと思えたので、したいと願っていたことは実現できた...



高校生
キャスト・スタッフ
アンケート



6
今後プラットに対する
期待・要望

●今後もずっと高校生と創る演劇シリーズを続けてください。この企画に参加した学生は絶対何かを学ぶことができるのでやってほしいです。

●この企画はプラットが無くなるまで続けていただきたい。劇に出た初めての場でもあるし、演劇部に所属していない私にとっての期間限定の部活というか、帰って来れる場所だから。

●プラットをもっと有名にして、豊橋市民が誇れる豊橋のシンボルになってほしいです。



7
その他
意見・メッセージ

●ちょうど私が高校生になってから始まったこの企画と出会えて、私は幸運だなと思います。稽古の1日1日が本当に濃くて、人間的に大きく成長できたと思います。まさかこんな短期間で人間って成長できるんだって思っくらくらいです。それはキャストもスタッフにも言えることだと思います。だから、これからこの企画のオーディションを受ける人で、例え落ちたとしても、スタッフをぜひやって欲しいなと思います。私たちキャストは、高校生スタッフの皆がいなかったら、私たちの演技の質もきつともっと低かったし、稽古記録ノートも本当に助かったし、プラット(舞台美術の「鯨」の製作やホワイエの飾りつけも、あそこまでちゃんとしてくれたらいいと思います。グッズまで作ってくれて…。高校生スタッフのみんなは偉大です。私はこの作品を愛していますし、この作品に関わった皆さんが大好きです!!



集計結果 1

		制作ワークショップ				
		とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満
スタッフ	日時	9	2	0	0	0

1
スタッフ
制作ワークショップ
について

●制作などの細かい仕事や役割を知れて面白かった。スタッフだけのワークショップがあるとやる気上がる気がする!

●たくさんの方がいて舞台は成り立っていること。その役割の人が持っている力しっかり出してやっていると。かっこいいと思った。

2
スタッフ
高校生スタッフの仕事について

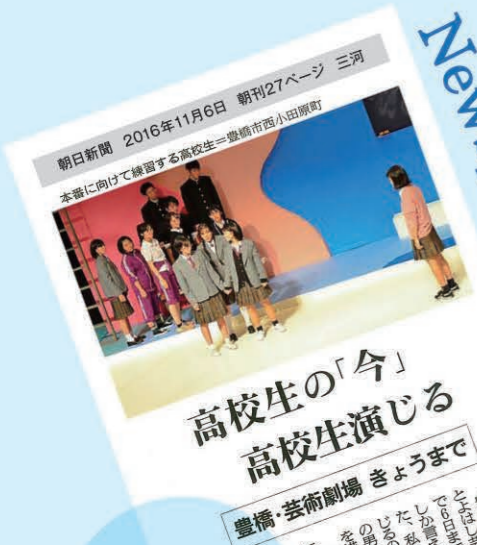
●高校生スタッフにこんなにお仕事ができると思っておらず、はじめてのことばかりでとても楽しかった。

●舞台美術として、自分の手でイチから作ったものが、舞台上で現れた時はものすごく嬉しかったです。

●ツイッターは、毎日どんなことを書けば皆様にちゃんと伝わるのか考察の日々で、反応が来ると嬉しくなり、一人で舞い上がっていました。



Newspaper article



高校生の「今」
高校生演じる

豊橋・芸術劇場 きょうまで



豊橋で5.6日 プロ演出、新作演劇

「等身大の高校生」見て

●今月のレポート
見聞の支那書や地域の創出活動に参考になる記事を取り上げ、レポートします

愛知県豊橋市、豊橋の国とよはし芸術劇場PLAT。豊橋市は、東三河の中心であり、静岡県の東部に位置する人口約37万人の豊橋市。東京から新幹線で1時間30分、名古屋から30分の大都市に直結する豊橋駅南側に隣接して2013年に誕生したのが「豊橋の国とよはし芸術劇場PLAT」だ。東三河の舞台芸術の拠点として演劇事業に力を入れ、東京の人材や公立ホールとのノウハウを生かしたプログラムを展開。その中のひとつが「高校生と創る演劇」で、3回目となる今年は東京から若手劇作家・演出家の山田佳奈(劇団「クック」主宰)を招聘。11月5日、6日にオーディションで選ばれた高校生18人が出演し、12人がスタッフとして参加した「女子にしか言えない〜パールの底で見た、私の幻燈〜」を発表した。

駅からペDESTリアンデッキで直結したPLATは、1階がガラス張りの交流ロビーになっており、カフェのようなテーブルと椅子で高校生や親子で過ごせる空間が広がっている。今回の会場となったスペースのロビーは高校生スタッフが装飾を施した。芝居の中で宙を飛んだ巨大なクワジラのハリポタも彼らが作成したものだ。

バスルカラーのセット、天井から吊り下げられたランドセルや学校の机や椅子など、まるで子ども思いの部屋のような設定の中、芝居が客席から登場し、舞台中央のパールのような四角い窪みに寝転がり、眠りにつく。「誰かここから出られなくなったらどうしよう〜」目覚めた高校生たちは学校生活の賑やかな日常の中で、世田谷パブリックシアターを経て、現在PLAT芸術文化プロデューサーを務める矢作勝義は、「公共劇場として地域と関わる取り組みが必要だ」と、開館2年目から高校生と創る演劇、市民と創る演劇などを始めた。東三河は「演劇が盛んで、新しい出会いの場をつくれ、高校生演劇部向けの講座や大会に向けた研修演劇になるのではないかと考えた」と言う。高校生演劇部向けの講座や大会に向けた研修を支援すると並行し、「高校生と創る演劇」を企画。14年「転校生」(平田オリザ作)、15年「赤鬼」(野田秀樹作)に次いで、今回初めて制作作品づくりを行った。

「高校生と真摯に向き合える」と選ばれたのが、カラオケルームを舞台に女性教師が中学生時代に挑んだ、9月下旬から放課後40日の稽古で作った。山田佳奈は、「大人になって子どもに抱かれたことを思い出した。許す作業が必要だ。それで、高校生たちが、今、認めてほしい。自分を許さないと感じていたことに向かってコミュニケーション力をつけることを目指していたので、心の中に溜まった言葉を身体に流す作業をやった。若者に対してあえて言葉を変えて、身体を触ったり、瞳をつかずに距離を縮めて、あなたに関わりたいというポジティブなスタンスで本音を出せるようにしていった」と話す。

対する高校生たちは、「ここではみんな意見が違っていて、こういう考え方の人もいるんだと視点を広げて見られるようになり、視野が広がった」(山内菜摘)。「普段は女子と関わらないで、敵に回すようなことも絶対言わないけど、「プス」ってセリフで叫んだり、自分じゃなかったけどどこまでイライラできるんだとわかった」(福吉康平)。「3回とも参加して、自分が自分らしくいられる方法が演劇だと感じた。自分の思いと話すのが得意じゃなかったけど、稽古の間、先輩とも普通にしゃべれるようになった。学校でも誰とも話せなかったのが話せるようになった。人間が全然怖くなくなった」(鈴木瑠花)と自分の成長を振り返っていた。

生たちは、「生き残るための準備体操」を始めた。演劇にはそういう役割もあるのかもしれないと感じられた舞台だった。(編集部・坪池/工藤)

※掲載の記事・写真は各新聞社の許諾を得て掲載しています。

- STAFF
- 脚本・演出 山田佳奈 (劇団「クック」)
 - ステージング 大石めぐみ
 - 演出助手 川村知也
 - 美術 青木拓也
 - 照明 松本大介 (株「松本デザイン室」)
 - 音響 岡田悠
 - 舞台監督 金安凌平
 - 美術助手 湯浅美穂里
 - 宣伝美術 共田慎性 (株「エクストラージ」)
 - 中川裕樹 (株「エクストラージ」)
 - 山本訓之 (株「エクストラージ」)
 - 宣伝写真 萩原ヤスオ
 - 記録映像 田中博之
 - 制作 矢作勝義 (豊橋の国とよはし芸術劇場PLAT)
 - 永田直子 (豊橋の国とよはし芸術劇場PLAT)
 - 大橋玲 (豊橋の国とよはし芸術劇場PLAT)
 - 制作助手 加藤仲葉 (豊橋の国とよはし芸術劇場PLAT)
 - 協力/エフエム豊橋
 - かわわ焼肉かわわ家
 - 株式会社ぎやぐ
 - 野口モーターズ
 - 企画制作/穂の国とよはし芸術劇場PLAT
 - 主催/豊橋市
 - (公財)豊橋文化振興財団
 - 特別協賛/サーラグループ
 - 助成/自治総合センター
- 地域創造レター-2016年12月号掲載記事 © 一般財団法人地域創造
http://www.jafra.or.jp/library/letter/260/report.php
- 文化庁
平成28年度文化庁
劇場・音楽堂等活性化事業